

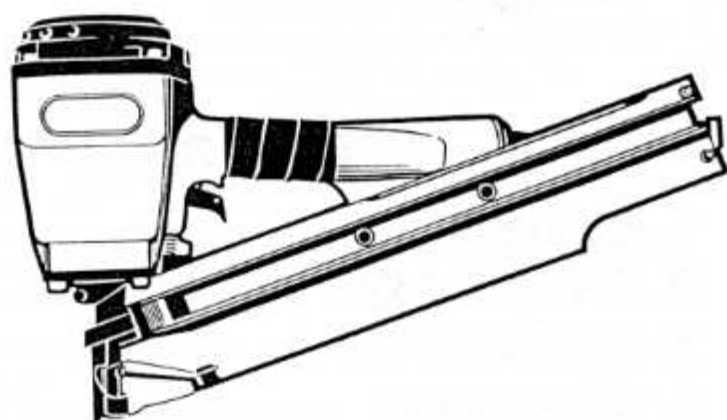
RYOBI[®]

エア釘打機

KN-901R

取扱説明書

2×4認定
釘打機



警告

- 使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- 使用の際は、必ず保護メガネを着用してください。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検してください。正常に作動しない場合は使用しないでください。
- 使用しない時、調整・修理・ネイル装填の時は必ずエアホースをはずしてください。
- 射出口を絶対に人体に向けないでください。
- 移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しないでください。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。
- 異常を感じたら絶対に使用しないでください。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、リョービエア釘打機KN-901Rをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

△ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

△ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

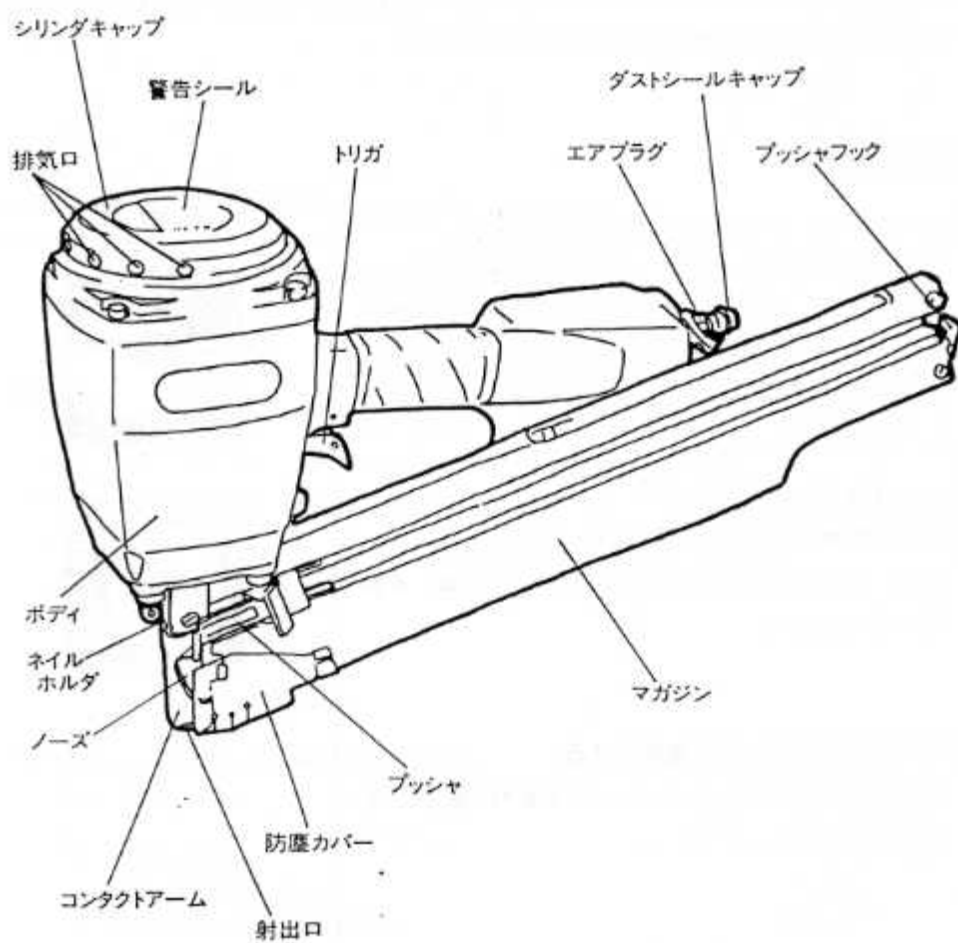
また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	13
5. 使用方法	14
6. 配管についての注意	17
7. エアホースの接続	18
8. 使用空圧と打込状態の確認	19
9. ネイルづまりの直し方	19
10. 性能を維持するために	20
11. カラ打ち時の確認事項	21

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称



本機は、ネイルを木材およびそれに類した材料に打ち込むことを目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法是重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

①使用の際は、必ず保護メガネを着用する。

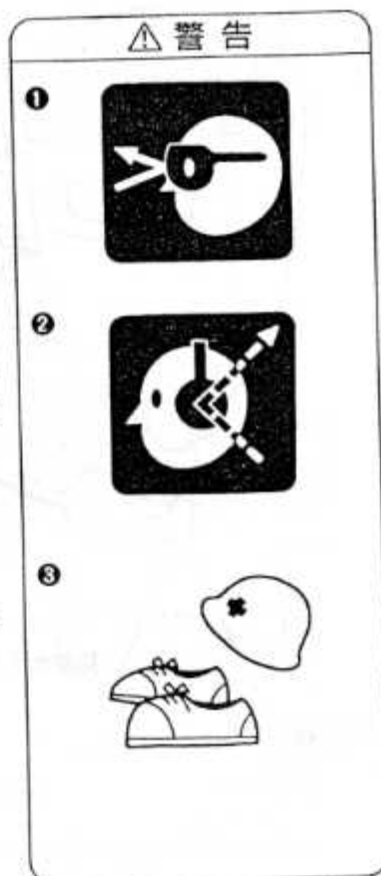
釘打作業をする時、排気エアにより粉塵が舞い上がったりネイルを連結している樹脂や、万一打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると危険です。作業する本人はもとより付近の人も必ず保護メガネを着用してください。

②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



④エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームガスミースに動くか。

(確認のしかた11ページ参照)

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。
異常のある場合は、お買い求めの販売店又はリョービ販売営業所へ点検・修理に出してください。

⑤エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

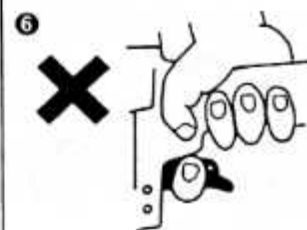
本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑥エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. トリガに指をかけない。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。

警告



⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はリョービ販売営業所に点検・修理に出してください。

⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。

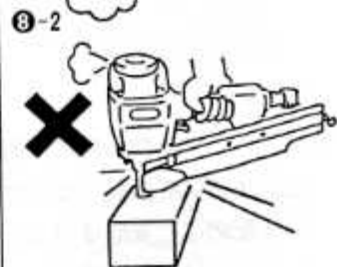
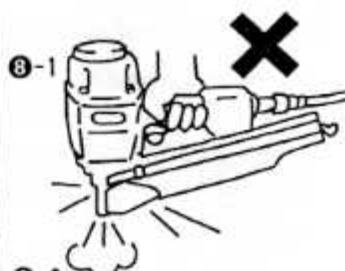
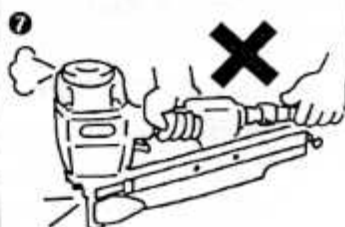
※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音がする。
 2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。(確認のしかた11ページ参照)
- 異常のある場合はお買い求めの販売店又はリョービ販売営業所に点検・修理に出してください。

⑨防塵カバーは絶対にはずさない。

釘打作業をする時、ネイルを連結している樹脂が飛散する場合がありますので、防塵カバーは絶対にはずさないでください。また、傷んだら交換してください。

△ 警告



⑩指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(13ページ参照)

⑪作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

作業中

①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は5~8kgf/cm² (0.49~0.78 MPa)です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。8kgf/cm² (0.78MPa)を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

②射出口を絶対に人体に向けない。

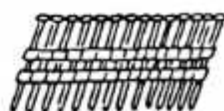
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中は付近の人に注意をはらってください。

③向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。

△ 警告

⑩



⑪

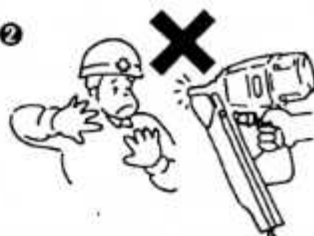


△ 警告

①



②



③



④ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それだりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

⑤ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

⑥ 移動する際は、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。

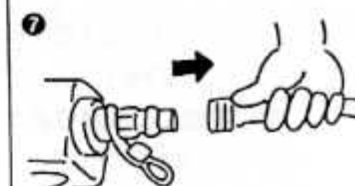
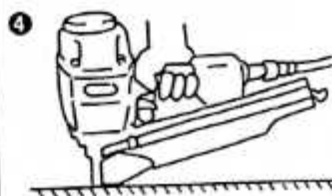
⑦ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

⑧ 異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はリョービ販売営業所に点検・修理に出してください。

警告



作業後

① 作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。

② 作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

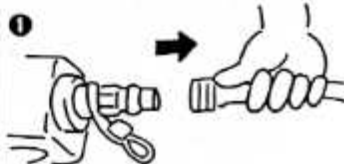
ネイルをマガジン内及びノーズ内に残しておくと、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内及びノーズ内のネイルを抜きとってください。

※ノーズ内に残っているネイルはネイルホルダを本機の前方向へ引き出し、取り除いてください。

③ 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

⚠ 警告



屋外作業について

① 足場の安全性を十分に確認する。

足場を使つての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

② エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

③ 直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

① 水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

△ 警告



② [水平面]



⑤ 垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

⑥ 傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

⚠ 警告

⑤ 〔垂直面〕**⑥ 〔傾斜面〕**

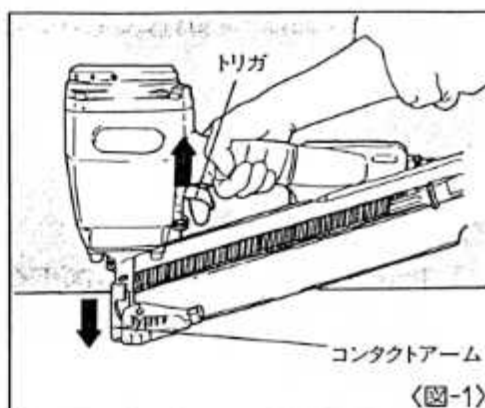
3 安全装置について

釘打作業の安全と仕上りの美しさを確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。

〈図-1〉



〈図-1〉

⚠ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

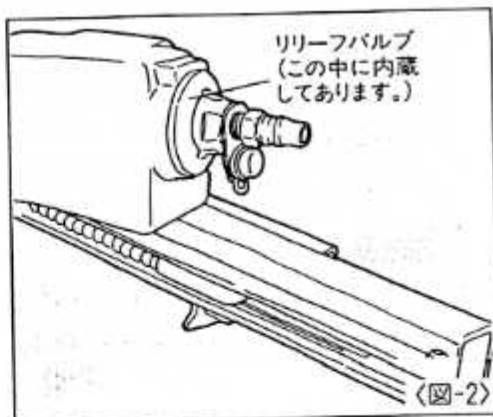
- 1.トリガを引いただけで、作動音がる。
- 2.コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がる。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はリョービ販売営業所に点検・修理に出してください。

●リリースバルブ

本機の使用空気圧範囲は5~8kgf/cm²(0.49~0.78MPa)です。8kgf/cm²(0.78MPa)を超える圧力では使用しないでください。異常高圧で使用するとリリースバルブより音を発し減圧します。その場合はただちに作業を中断し、エアホースをはずして打込圧力を再調整してください。また、エアコンプレッサ・空気経路を点検してください。なお、本機のリリースバルブはボディ部後方本体に内蔵しています。

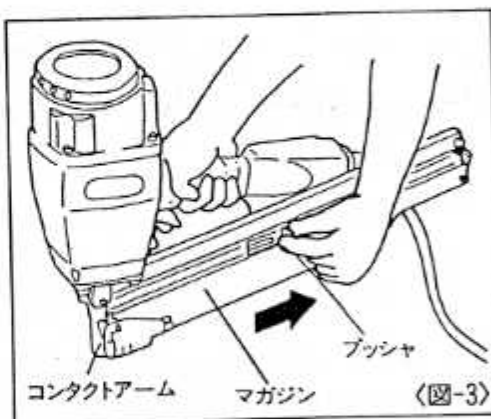
〈図-2〉



△ 注意

- 本機は空打防止装置が装備されていますので、ネイルを装填しない状態ではコンタクトアームは固定され動きません。安全装置の確認をする場合や、コンタクトアームの動き具合を確認する場合はプッシャをマガジン後方に引っ張り、空打防止装置を解除しながら行なってください。

〈図-3〉



●DS/バルブ（別売部品）について

本機にはDS/バルブが別売部品として用意されています。DS/バルブは、コンタクトアームを対象物に押しあてた後、トリガを引く構造になっておりますので狙った場所に一発一発より一層確実に打つことができます。また、その結果として偶然の思わぬ事故から身を守り安全に作業することにつながります。

打ち方

- ① ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当てます。

〈図-4〉

- ② トリガを引くとネイルが発射されます。

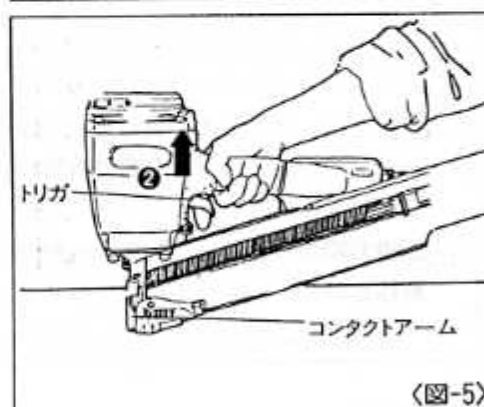
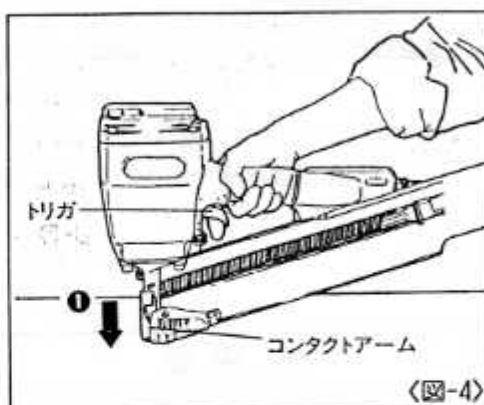
〈図-5〉

- ③ コンタクトアームの先端を対象物よりはなし、トリガから指をはなします。

- ④ ①～③の動作を繰り返して釘打作業を行います。

※トリガを先に引いて、コンタクトアームの先端を対象物に押し当ててもネイルは発射されません。

- DS/バルブの取付けは、お買い求めの販売店またはリョービ販売営業所に御相談ください。



⚠ 警告

- 作業前、DS/バルブが上記通りの作動をするか必ず確認する。
- DS/バルブの各部品が摩耗または消耗していないか必ず点検する。異常がある場合は本機を使用しない。
異常がある場合はお買い求めの販売店またはリョービ販売営業所に点検・修理に出してください。

商 品 名	エア釘打機
商 品 記 号	KN-90IR
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
寸 法	(H) 322× (W) 123× (L) 540mm
重 量	4.25kg
ネイル装填数	50本 (2連)
使用空気圧範囲	5~8kgf/cm ² (0.49~0.78MPa)
使 用 ホ ー ス	内径8.5mm以上、長さ30m以内
使 用 オ イ ル	タービン油I種ISO VG32 (JIS1号90番)
安 全 装 置	メカニカル方式、リリーフバルブ、空打防止装置
付 属 品	保護メガネ、タービン油、六角棒スパナ5・6

〈使用ネイル〉

- スティックネイル 65、75、90 (mm)

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

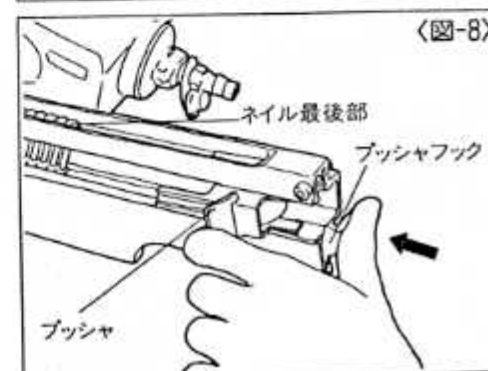
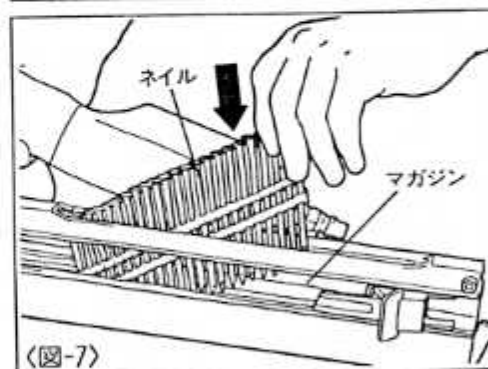
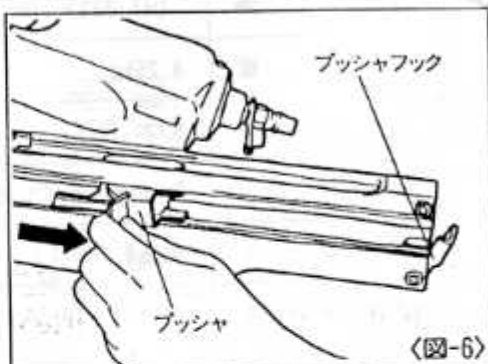
【ネイルの装填方法】

⚠ 警告

- ネイルを装填するときは、必ずエアホースをはずす。

手順

- ① エアホースをはずします。
- ② プッシャに指をかけてそのまま後方に引き、プッシャがプッシャフックに、「カチッ」と音がして止まるまでいっぱいに引きます。 〈図-6〉
- ③ ネイルをマガジン内に入れます。ネイルは2連（50本）入れることができます。 〈図-7〉
- ④ プッシャに指をかけ、図のようにプッシャフック後端の突起部を押してプッシャの固定を解除し、プッシャをネイル最後部まで静かに送ってください。 〈図-8〉

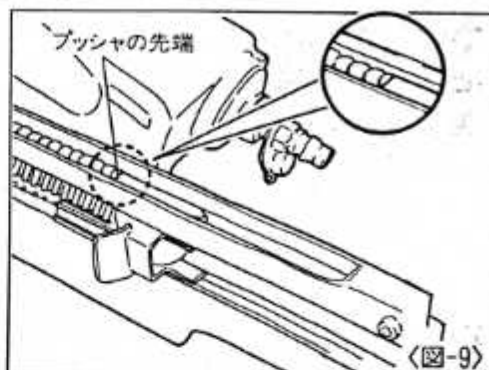


△ 注意

- プッシャの先端がネイルを確実におさえるようにセットしてください。

〈図-9〉

- プッシャの固定を解除した際、プッシャをはなすと、バネの力によりプッシャが急激にもどり、ネイルが変形し、ネイルづまりの原因になりますのでプッシャは必ず手で静かに送ってください。



〈図-9〉

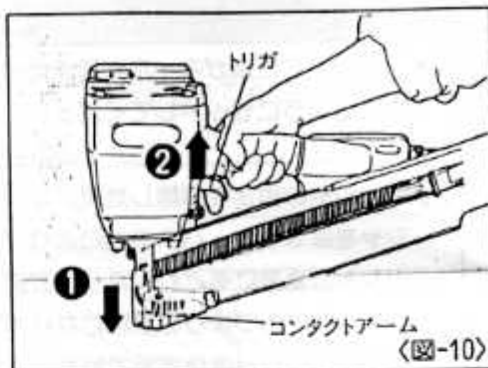
- 本機には空打防止装置が装備されています。ネイルの残りが4本程度になると打てなくなります。続けてお使いになる場合はネイルを補充してください。
- 連結が10本以下の釘の使用はさける。
空打ち、つまり等の原因になります。
- ネイル装填の際、プッシャの解除に充分注意してください。
- ネイルの変形が起きた場合、マガジン内のネイルを引き出し、変形した部分を手で折り取ってお使いください。変形したまま使用すると、ネイルづまりの原因になります。
- 指定外のネイルを使うと本機の故障原因になりますので、必ず指定のステックネイルをお使いください。

【打ち方】

●トリガ打ち

打込位置を正確にねらう時は、ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアームの先端を押し当ててからトリガを引きます。

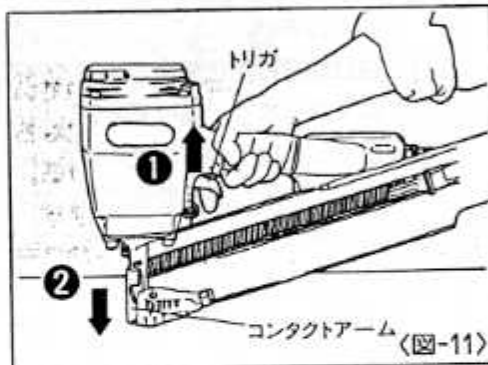
〈図-10〉



●コンタクト打ち

早く打ちたい時は、トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアームの先端を打ち当てるだけで連続作業ができます。

〈図-11〉



【吊り下げ用フックの取り付け方】

屋内作業の時、天井等から吊るして使用する時は、別売商品の吊り下げ用フックをお買い求めいただき、右図を参照して取り付けてください。

①シリンダキャップを止めている六角穴付ボルト6×30の後方の2本を抜き取りま

す。
②別売品の吊り下げ用フックを六角穴付ボルト6×35で取り付けてください。

〈図-12〉



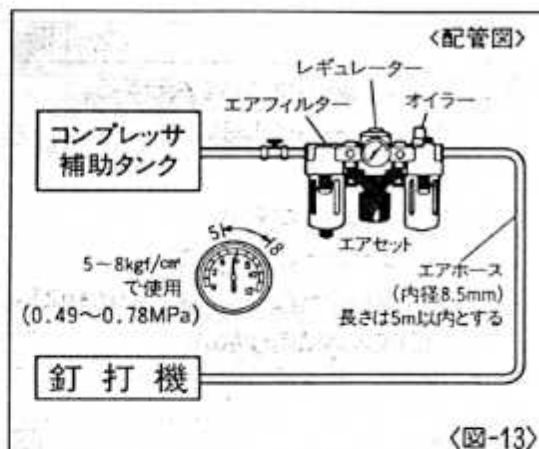
6 配管についての注意

⚠ 警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ❶ 動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)は絶対に使わないでください。
- ❷ エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ❸ エアホースは内径8.5mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径8.5mm以上、長さ5m以内で使用してください。

〈図-13〉



⚠ 警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

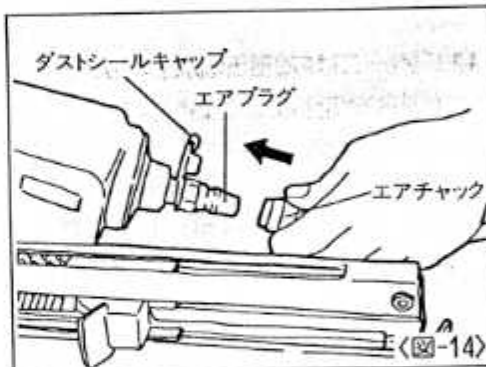
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- 1.トリガに指を掛けない。
- 2.コンタクトアームに触れない。
- 3.コンタクトアームを押上げた状態にしない。
- 4.射出口を人体に向けない。

●手順

- ①ダストシールキャップを外します。
- ②エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。

〈図-14〉

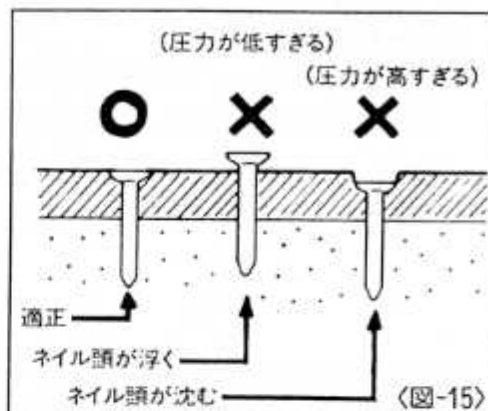


⚠ 警告

- 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

8 使用空気圧と打込状態の確認

- 本機を使用する場合、打込対象部材の硬さにより使用空気圧を設定しますが、通常は6kgf/cm² (0.59MPa) に圧力をセットします。作業中ネイル頭が浮いたり、沈みすぎたりした場合は、エアセットのレギュレーターでネイル頭が打込対象部材に対し面一になるように圧力調整してください。〈図-15〉



- 打込対象物の硬軟、使用するネイルの長短で多少圧力がちがいますので作業前にテスト打ちを行なって圧力調整をしてください。

⚠ 警告

- 8kgf/cm² (0.78MPa) を超えた圧力では絶対に使用しない。

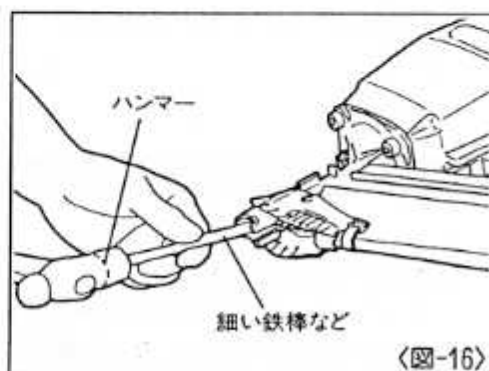
9 ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

- ネイルづまりを直す時は、必ずエアホースをはずす。

手順

- ①エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜きます。
- ③射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。〈図-16〉
- ④ノーズ内部につまったネイルを細い鉄棒やドライバーで取り除きます。
- ⑤ネイルをマガジンに再度確実にセットしてください。



10 性能を維持するために

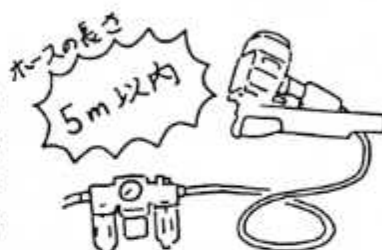
① 本機を大切に使う

落したり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。



② エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



③ 本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



④ 指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2~3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



⑤ダストシールキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



⑥エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルターの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルターに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑦定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はリョービ販売営業所にお申しつけください。

11 カラ打ち時の確認事項

作業中に本機は作動するがネイルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

- ①マガジン内のネイルが変形していないか。
- ②プッシャの先端がネイルを確実におさえているか。

上記①②を確認してもカラ打ちが直らない場合には、お買い求めの販売店またはリョービ販売営業所に点検・修理に出してください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のため、お断わりなく製品仕様が変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社